

令和3年度  
碧南市藤井達吉現代美術館  
協議会資料

碧南市藤井達吉現代美術館  
令和4年3月

## 美術館運営方針及び事業概要について

### 1 美術館運営方針

#### (1) 基本理念

当地出身で日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉の顕彰、子供たちを始め幅広い世代へ向けた教育事業、まちづくりの拠点施設としての役割という柱のもと、美術に関わる情報を発信し、生活の豊かさや心のゆとりをもたらす場として、市民に親しまれる美術館を目指します。

#### (2) 基本的性格

ア 日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉を顕彰します。

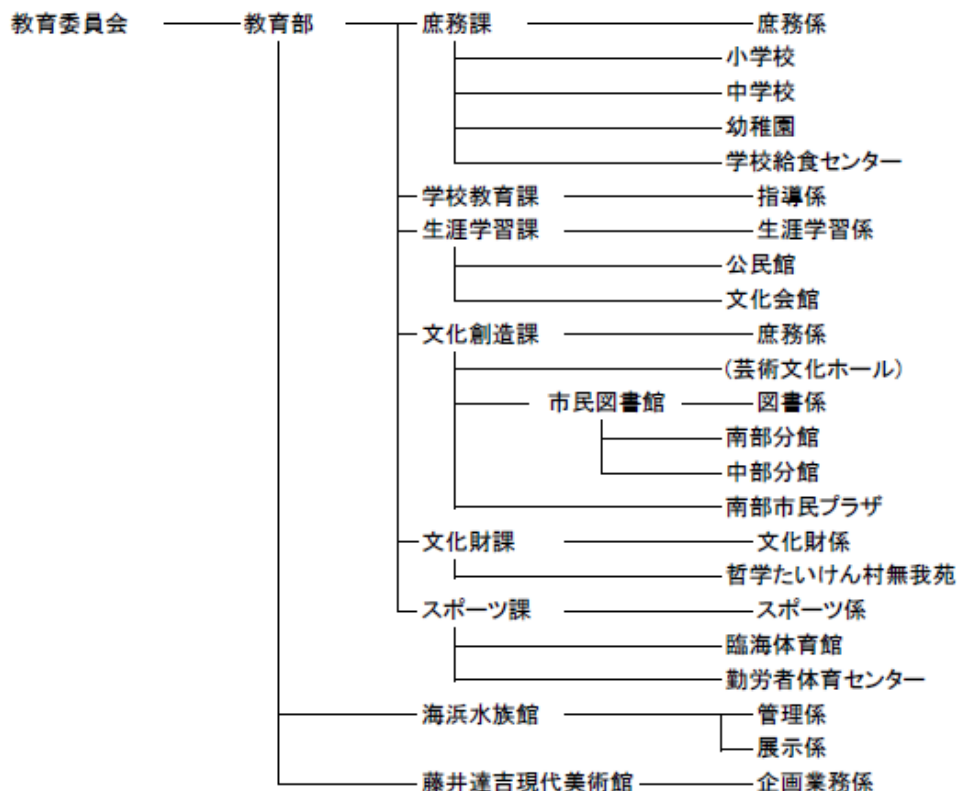
イ 過去から未来までを常に視野に入れていた藤井達吉の精神を見出せる現代の作家を発掘し、若者に対する広場と創造の場として全国に発信します。

ウ 新しい芸術を身近に提供することで市民の芸術文化の向上を支援し、子供たちの豊かで未知なる感性を伸ばして未来を見据える力を育てます。

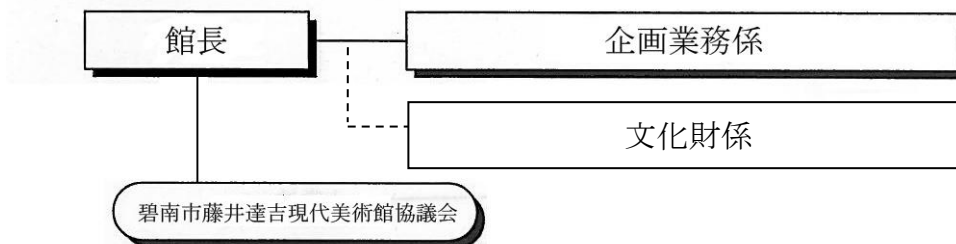
エ 地域の歴史や文化に焦点をあてた研究を行います。

#### (3) 組織

##### ア 行政組織図



イ 組織体制



ウ 人員配置（令和3年4月1日現在）

館長 会計年度任用職員 1 人

副館長 課長級 1 人

企画業務係 係長級 1 人（事務員）、主事級 3 人（学芸員）

会計年度任用職員 1 人（学芸員）、会計年度任用職員 1 人

文化財係 係長級 1 人（学芸員）、主事級 1 人（学芸員）、会計年度任用職員 2 人

(4) 予算

ア 令和3年度予算状況（当初）

（単位：千円）

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	美術館 整備事業	合計
予算	27,366	210	25,161	5,263	5,156	1,981	57,648	122,785
特定財源	0	0	28	50	0	0	42,000	42,078
一般財源	27,366	210	25,133	5,213	5,156	1,981	15,648	80,707

イ 令和4年度予算要求状況

（単位：千円）

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	美術館 整備事業	合計
予算	21,605	210	35,612	8,639	5,046	1,151	568,706	640,969
特定財源	0	0	7,760	1	0	0	566,040	573,801
一般財源	21,605	210	27,852	8,638	5,046	1,151	2,666	67,168

## (5) 施設

### 建築概要

名称	碧南市藤井達吉現代美術館
所在地	愛知県碧南市音羽町一丁目1番地
敷地面積	2,143.16㎡
建築面積	820㎡
延床面積	2,425㎡
階数	地下1階、地上3階、塔屋1階
最高高さ	16.6m
工事種別	増築、用途変更
構造種別	鉄骨造、鉄筋コンクリート造
建築主	碧南市
設計監理	株式会社日本設計 名古屋支社
施工	(建築工事) 白竹建設株式会社 (電気設備工事) 衣浦電気工事株式会社 (空調設備工事) 株式会社桶元 (衛生設備工事) 株式会社榊原工業所

仕上げ	(屋根) 日本瓦一文字葺 シリコンポリエステル樹脂塗装カラーステンレス鋼板 (外壁) 鋼製430ルーバー 施釉セッコ器質タイル (建具) アルミサッシュ (展示室) 床:タイルカーペット 壁:石膏ボード+調湿建材、ガラスクロスエマルジョンペイント 天井:エキスパンドメタル (収蔵庫) 床:ビニル床シート 壁:片面アルミフィルム張(庫内側)石膏ボード+調湿パネル 天井:片面アルミフィルム張(庫内側)石膏ボード+ロックウール化粧吸音板
電気設備	(電力引込) 架空引込方式1回線 (受変電設備) 三相3線式6,600V(屋外閉鎖型) 幹線 照明 単相 3線式 200/100V 200KVA 動力 三相 3線式 200V 300KVA 電話 引込 10回線 防災 自動火災報知設備、非常放送(兼用)
空調設備	(熱源) エネルギー:電気 装置:空気熱源ヒートポンプ (空調) 個別方式(展示室1、2、収蔵庫)、カセット式 (換気) 中央式(1種)、個別式(1種、3種) (排煙) 自然排煙方式、機械排煙方式
衛生設備	(給水) 上水(引込口径40、直結給水) (給湯) 個別式(電気)、貯湯式 (排水) 屋内排水分流式 屋外合流 屋外排水下水道放流(汚水、雑排水) (消火) 屋内消火栓、窒素ガス消火設備
昇降機	機械室レス 1基 (1000kg積 11人乗 45m/min W1.6m×D1.5m×H2.6m 車椅子仕様・視覚障害者仕様)

### 設備概要

#### 展示保存環境

空調	区分	設定温度 (目標値)	温度変化	設定湿度 (目標値)	湿度変化
	展示室	22℃	±2℃	55%	±5%
	収蔵庫	22℃	±2℃	55%	±5%

照明: 全て紫外線防止、調光可能。

区分	照明器具
展示室1、2、3	蛍光灯直接照明、スポットライト(着脱式)
展示ケース(展示室2)	蛍光灯、スポットライト(着脱式)
展示室4	スポットライト(着脱式)

作品展示: ワイヤーによる壁面展示、小型作品は壁面釘止め可能。  
固定展示ケースのほか移動型展示ケース、移動型展示壁等保有。

区分	階数	床材	面積 m <sup>2</sup>	天井高 m	床耐 荷重 kg/m <sup>2</sup>	固定 壁長 m	可動 壁長 m	展示 ケース長 m
展示室1	2階	タイルカーペット	193	3.2~6.4	350	47.3	30.0	—
展示室2	2階	タイルカーペット	177	2.7	500	35.5		10.0
展示室3	1階	タイルカーペット	83	2.7	290	29.2	—	—
展示室4	B1階	タイルカーペット	104	2.6	500	26.7	—	—

#### 収蔵・保管設備

区分	階数	備考
収蔵庫1	3階	78m <sup>2</sup>
収蔵庫2	3階	70m <sup>2</sup>
一時保管庫	1階	19m <sup>2</sup>
荷解室	1階	56m <sup>2</sup>
搬入口	1階	3.0×3.0m
昇降機	1台	兼用

#### 教育普及等設備

区分	階数	備考
多目的室	1階	96m <sup>2</sup> 展示室使用可
創作室	B1階	63m <sup>2</sup>

#### 防災設備・体制

防火	自動火災報知設備 屋内消火栓 窒素ガス消火設備(収蔵庫)
防犯	開館時には展示室内に常時監視員配置、閉館時には、機械監視警備。 監視カメラ(事務室でモニタ可能)

## 2 事業概要

### (1) 企画展

藤井達吉の顕彰にふさわしい企画のほか、美術の様々な領域を視野に入れて、優れた美術作品を市民に紹介していきます。また、地域の歴史や文化に焦点をあてた歴史系の企画展も定期的に行います。

#### <企画方針>

- ア 藤井達吉の創作活動を紹介する展覧会
- イ 藤井達吉の精神を反映した内容の展覧会
- ウ 地域の歴史や文化を顕彰する展覧会
- エ 市民の文化・教養の向上に資すると思われる展覧会

### (2) 常設展等

藤井達吉に関わる作品及び資料の公開の場として運営します。また、地域に関わる歴史的資料の展示の場としても努めます。

### (3) 教育普及

幅広い年代の人々に美術に親しんでもらえるよう、様々な教育普及事業に取り組み、美術情報の提供に努めます。学校教育をはじめ他の教育活動との連携を図っていきます。また、市民の創作活動の場として、市民ギャラリーも併設します。

### (4) 収集・保管

「市民の財産」といえるコレクションの形成に努め、その作品の恒久的な保存に努めます。

#### <収集方針>

- ア 藤井達吉の芸術を顕彰するに重要と思われる作品
- イ 藤井達吉の精神を見出せる作家の作品
- ウ 地域の歴史や文化を語るうえで重要と思われる作家の作品
- エ 市民の美術文化の向上に資すると思われる作品
- オ 上記の作品・作家を理解するうえで役立つ資料

### (5) 調査研究

美術館活動の充実を図るため、藤井達吉及び藤井と同時代の美術を中心として、国内外の美術に関することや、地域の歴史や文化に関する調査・研究に取り組んでいきます。

## 令和3年度活動状況について

## 1 企画展

## (1) 特別開館事業 いのちの移ろい展

内 容	<p>新型コロナウイルスのまん延により美術館の休館期間が延びる中、市民を中心に美術館の開館を求める声が多くありました。その声に応えるべく、またこうした状況の中で美術館が何をすべきかを考え臨時開館、企画展を実施しました。</p> <p>人と人、人と自然を結ぶ「いのち」の表現を現代作家10名の作品、所蔵品によって迎えました。作品と向き合い、いのちの輝きを感じるものが私たちの眼や感覚であることを改めて確認いただきました。</p>
会 期	2021年4月29日（木・祝）～2021年6月20日（日） 46日間
会 場	展示室1・2・3、多目的室、エントランス、ロビー他
観覧者数	3,865人（1日平均84人）
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会
出品点数	83点
印 刷 物	ポスターB1・B2判、チラシA4判両面、ギャラリーガイドA3判二折り両面、記録集A5判
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・ギャラリーガイド：プランク 中島浩 記録集：アーティカル 小島邦康
担 当	北川智昭
関連事業	<p>① 「Café Barrack in 碧南」</p> <p>日時：4月29日（木）4月30日（金）5月1日（土）5月2日（日）6月12日（土）6月13日（日）6月19日（土）6月20日（日）いずれも11時～16時</p> <p>主催：近藤佳那子氏（作家）</p> <p>会場：美術館内カフェスペース</p> <p>対象：来館者</p> <p>② 缶バッチ制作</p>

	<p>内容：参加者に自由に絵を描いてもらう、あるいは下絵を渡し、色を塗ってもらい、オリジナルの缶バッジを制作しました。</p> <p>日時：展覧会期間中の土・日・祝日</p> <p>会場：館内カフェスペース他</p> <p>対象：来館者</p> <p>参加費：100 円</p> <p>売上：187 個（複数個制作する参加者も見られたため売上個数表記とした）</p> <p>③ 作家・大森悟氏によるリモート授業</p> <p>内容：本展出品作家、女子美術大学教授大森悟氏による女子美術大学3年生を対象としたリモート授業を実施しました。本展のコンセプトについて学芸員が解説した後、大森氏が作家の視点から出品作品や作品展示について講義を行いました。</p> <p>日時：6月4日（金）</p> <p>会場：碧南市藤井達吉現代美術館</p> <p>対象：女子美術大学3年生</p> <p>④ギャラリートーク（展示説明会、14時～）</p> <p>説明者：北川智昭（担当学芸員）・日置樹也・岩月真由子</p> <p>第1回：令和3年4月29日（木・祝） 13人</p> <p>第2回：令和3年5月1日（土） 11人</p> <p>第3回：令和3年5月2日（日） 6人</p> <p>第4回：令和3年6月12日（土） 5人</p> <p>第5回：令和3年6月13日（日） 5人</p> <p>第6回：令和3年6月19日（土） 14人</p> <p>第7回：令和3年6月20日（土） 9人</p>
<p>メディア 等掲載 (全17</p>	<p>・『美術の窓』2021年1月号「展覧会案内」（生活の友社）</p> <p>・『芸術批評誌 リア』47号「特別開館事業 いのちの移ろい展」原舞子（リア制作室）</p> <p>・『ナゴヤアートニュース』4-5月号・6-7月号「展覧会紹介」（東海ア</p>

件)	<p>ド・エージェンシー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『広報へきなん』2021年4月15日号「展覧会関連イベント」「表紙」「展覧会概要」(碧南市役所)</li> <li>・『フリモかわら』2021年5月号「Event news」(ハートフルメディア)</li> <li>・『碧南商工会議所 会報』2021年4月号(碧南商工会議所)</li> <li>・三河新報「コロナ禍で特別開館事業 いのちの移ろい展」(5月1日)</li> <li>・文春オンライン 山内 宏泰 「コロナ禍で浮かび上がった「いのちの尊さ」を現代アート作品で感じ取る」(5月2日)</li> <li>・中日新聞・夕刊(文化・芸能) 宮崎正嗣「陶や木炭で新たな表現」(5月15日)</li> <li>・中日新聞・朝刊(三河版) 福澤和義「いのちテーマ 現代アート展」(5月17日)</li> <li>・中日新聞・朝刊(文化・芸能) 宮崎正嗣「江戸から現代「いのちの移ろい展」」(5月28日)</li> <li>・たんぼぼニュース「十人十色の現代作家 いのちがテーマの作品展」(6月11日)</li> <li>・KATCH (CATV)「KATCH TIME30」(4月30日初回放送)</li> <li>・KATCH (CATV)「KATCH TIME30」(5月27日初回放送)</li> <li>・「Pitch HAPPY 市場 まちのまど」Pitch FM(生放送)(4月14日 13:35-12:50、日置出演)</li> <li>・「Pitch HAPPY 市場 まちかどりポート」Pitch FM(生放送)(5月5日 12:45-12:55、日置出演)</li> <li>・金山総合駅ホーム・ポスター掲示(B1ポスター2連貼り)(4月29日～5月28日)</li> </ul>
----	--

## 2 常設展

収蔵庫等増設・施設改修工事に伴う休館のため開催していない。

## 3 共催展等

(1) 第13回碧南文化協会選抜美術展(会場:碧南市藤井達吉現代美術館)

会 期	令和3年7月3日(土)～7月11日(日) 8日間
-----	--------------------------



会 場	碧南市藤井達吉現代美術館 2階 展示室1・2
観覧者数	911人（無料）（1日平均113人）

(2) 第34回碧南市野外彫刻コンテスト入賞作品展（会場：文化会館）

会 期	令和3年11月27日（土）～12月10日（金） 12日間
会 場	碧南市文化会館 1階 展示室2
観覧者数	312人（無料、1日平均26人）

4 教育普及

(1) 子どもワークショップシリーズ（対象：小学生、幼児 会場：美術館創作室（10月～大浜まちかどサロン2階ホール））（165人）

	実施日	タイトル	参加者
1	令和3年4月18日（日）	オリジナルかざぐるまづくり	11人
2	令和3年5月16日（日）	スライド万華鏡づくり	20人
3	令和3年6月20日（日）	迷路づくり	19人
4	令和3年10月24日（日）	ハロウィンコラージュ	21人
5	令和3年11月21日（日）	鉛筆グラデーション	21人
6	令和3年12月19日（日）	トリックアート	26人
7	令和4年1月16日（日）	オリジナルゆるキャラをつくろう	16人
8	令和4年2月20日（日）	ぽたぽたアート（3～6歳とその保護者）	16人
9	令和4年2月27日（日）	ぽたぽたアート（小学生）	15人
10	令和4年3月20日（日）	模様であそぼう	人

(2) 夏休みワークショップ（対象：小学生、幼児 会場：創作室）（54人）

	実施日	タイトル	参加者
1	令和3年7月11日（日）	ごむごむのびのび	8人
2	令和3年7月24日（土）	シーサーをつくろうー陶芸ー（外部講師）	10人
3	令和3年7月25日（日）	シーサーをつくろうー陶芸ー（外部講師）	10人
4	令和3年8月8日（日）	版画体験ーコラグラファーー	20人
5	令和3年8月22日（日）	まきまき造形あそび（外部講師）	6人

(3) 大人ワークショップシリーズ（対象：中学生以上 会場：美術館創作室（10月～大浜まちかどサロン2階ホール））（96人）

1	令和3年4月25日（日）	版画講座1ー消しゴムはんこー	13人
---	--------------	----------------	-----

2	令和3年5月23日(日)	版画講座2ー簡単ステンシルー	12人
3	令和3年6月27日(日)	版画講座3ーシルクスクリーン	17人
4	令和3年7月18日(日)	版画講座4ー簡単リトグラフー	13人
5	令和3年8月29日(日)	版画講座5ーコラグラフー	13人
6	令和3年10月31日(日)	ピカソでコラージュ	11人
7	令和3年11月28日(日)	クリスマスカードをつくろう	4人
8	令和3年12月26日(日)	もふもふ動物を描こう	9人
9	令和4年1月23日(日)	ロゴマークをつくろう	4人
10	令和4年3月27日(日)	模様であそぼう	人

(4) 出前講座

実施日	令和3年6月24日(木)～令和4年1月20日(木) 延べ17日
対象	日進小学校1年1クラス(29人)・3年2クラス(62人)・特別支援学級(10人)、鷺塚小学校1年(95人)×3回・2年4クラス(106人)、新川小学校4年4クラス(124人)、棚尾小学校2年4クラス(105人)×2回、特別支援学級(17人)、6年3クラス(96人)、中央小2年3クラス(94人)、4年3クラス(93人)、特別支援学級(17人) 延べ1,143人
内容	<p>・日進小1年生(創作)</p> <p>手につけた絵具(2色)を画用紙にスタンプし、現れた模様の観察を楽しんだ。その後は模様を生き物に見立て加筆していく絵作りを展開した。</p> <p>・鷺塚小1年生(創作)</p> <p>「クレヨンで顔を描こう」をテーマに、正面から見た動物の顔をクレヨンで描いた。講師の描いた見本を見せ、マスクで隠した口は、見えている目や眉から想像した表情とは違う形をしている驚きがある事を絵作りの導入として伝えた。クレヨンの色面をこすり、絵具の様に色を混ぜて表現する体験も行った。</p> <p>・鷺塚小2年生(創作)</p> <p>紙を手で無造作にちぎり、破片を台紙に並べて人物の全身像を見立てる絵作り。紙をちぎる感触や音を遊びとして楽しみ、現状の破片(材料)をどう活かすかを焦点に授業を展開した。</p> <p>・新川小学校4年(創作)</p> <p>「リコーダーを吹く人物」をテーマとする版画制作。学校で版木に下書きを終えた段階で指導に入り、美術館からは彫刻刀の種類や用途を説明し、線彫りと道具の安全な持ち方の実技指導を行った。</p> <p>・棚尾小学校2年生(美術館紹介・創作)</p>

美術館内の見学の代替えとして、美術館で実施するワークショップの作例（現物）を見せながら工作の楽しさを紹介した。次の授業では割りばしと輪ゴムを使った、ゴム鉄砲づくりを行い、段ボールカッターで割りばしを切断する際の安全な方法を指導した。

・日進小学校3年（創作）

「自分と乗り物」をテーマとした絵画制作を行うにあたり、ペンで描くコツを指導した。線の強弱を擬音語で表して楽しみ、手を動かすスピードや筆圧によってペン線に変化が表れることを落書きの遊びから体感してもらった。ペン線の強弱を利用し、登場人物の前後を描き分ける方法を実践した。

・棚尾小学校特別支援学級（創作）

絵具と洗濯糊を混ぜた粘度の高い絵具3色をスプーンですくい、段ボールに垂らしてできた模様を観察した。その上に自然物（どんぐりや松ぼっくり）と加工物（ビーズやひも）の端材を乗せる作品作りを楽しんだ。

・中央小学校2年（鑑賞）

たちカード（※1）の所蔵作品2点をタブレットで鑑賞し、感じたことや発見したことを発表することで他者と意見を共有した。また、作品のタイトルを各自で考えさせ、より自発的に作品に関わる方法を実践した。

・中央小学校4年（創作）

「自画像」をテーマとした彫刻刀の版画制作の導入について指導を行った。鏡で自分の顔（マスク付）を観察し鉛筆で目を描く導入を行い、次に構図のポイント（目やマスクの位置）を伝え、画面に対する形の大きさを考えて版木に下描きすることを伝えた。

・中央小学校特別支援学級（創作）

紙の反発作用を利用し、トレーシングペーパーの帯を折ったり曲げたりして形の変化を楽しみ、紙の輪や連続する形を黒の台紙に貼りつけて立体作品を作った。

・日進小学校特別支援学級（創作）

プロジェクターの背景（森や海の中、ゲーム画面等）に児童の全身像を投影して遊んだ後、児童は模造紙の上に寝転がってポーズをとり、講師はその全身像を鉛筆とペンで縁取った。全身像のシルエット内に色彩道具（ポスカやクレヨン）で着色し、端材（ひも、折り紙、スポンジ等）で加飾し作品を制作した。

・鷺塚小1年生（創作）

粘土を団子状にする遊びから固さを均一にし、それらを使って動物等の

	<p>立体物を制作した。</p> <p>・棚尾小学校6年（鑑賞）</p> <p>タッチカード（※1）の所蔵作品3点を鑑賞し「透視図法」を使った絵画制作の導入について指導した。手持ちのタブレット端末（児童1人1台）を使用し、高解像度の作品データを部分拡大して詳細を鑑賞したり、ペイント機能を使い画像に直接加筆することで作者の「透視図法」を体感した。</p> <p>・鷺塚小1年生（創作）</p> <p>絵具を使った遊び体験を実施。各自で3色選択し、筆、ひも、スタンプの道具を使って画面に着色した。意図しない模様の表情や色の混ざり方、乾燥の過程で色味が変化する様子を観察した。</p> <p>（※1）タッチカード…美術館の所蔵作品を掲載した鑑賞用補助教材。美術館で制作・発行し、碧南市内の小中学校に配布。カードゲームを通して、作品の見方を深める授業を実施している。</p>
--	--

(5) 美術館学習

実施日	令和3年9月6日（月）～令和3年11月10日（水） 延べ16日
対 象	市内小学校5年生・中学校1年生（小学校7校・中学校5校）
内 容	美術館の取り組みや施設紹介をし、藤井達吉《大島風物図屏風》を題材に鑑賞授業を実施。小学5年生650人・中学1年生681人 （※例年、美術館館内で行う授業だが、休館中のため学校で実施）

(6) その他

実施日	令和3年6月12日（土）～令和4年1月8日（土）毎月1日程度
内 容	ZINE（手作りの冊子）制作 増改築中の美術館やその周辺の魅力を発信する事を目的とした有志市民による活動。（参加者13人）
実施日	令和3年6月7日（月）、6月9日（水）、11月25日（月）
内 容	棚尾小学校 クラブ活動「達吉クラブ」への講師派遣 ろうけつ染めの型作りや、染色法などの指導（参加者27人） ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、延べ8日の予定の内5日中止している。
実施日	令和3年7月26日（月）
内 容	ポスター講座の講師派遣 会場：ららくるにしばた（12人）

実施日	令和3年8月3日（火）
内 容	ポスター講座の講師派遣 会場：市民図書館（中部分館）（20人）
実施日	令和3年8月5日（木）、8月6日（金）
内 容	市政なんでも百科講座の講師派遣 依頼者：鷺塚児童クラブ／会場：鷺塚小学校 「ポスターづくりの極意～アイデアを考えます～」水彩絵具やクレヨンなどの色彩道具の使用について助言（参加者10人） 「学区の彫刻探検～ミニチュア制作を通して～」厚紙で野外彫刻（TO THE SKY）のミニレプリカ制作（参加者12人）

## 5 保存・修復

### (1) 美術館生物生息調査

調査期間	令和3年度 通年
調査場所	美術館全館
調査内容	粘着式トラップによる歩行性虫生息調査
調査結果	展示室及び収蔵庫での生息や発生は現在確認されていません。今後も清潔な環境維持に努めます。

### (2) 害虫獣防除作業

調査期間	令和3年7月19日
実施場所	収蔵庫を除く全館
実施対象	ゴキブリ、ハエ、ネズミ等
実施内容	① ハンドスプレーヤによる残留噴霧（スミチオン乳剤） ② 炭酸ガス製剤（ミラクンS）による空間噴霧 ③ エアゾール剤による隙間処理 ④ 調査トラップによる鼠族モニタリング調査、予防、駆除
実施結果	・全館でゴキブリの捕獲、死虫はみられませんでした。 ・喫茶室のグリストラップ内の汚れが目立ちましたので、残留噴霧処理にて防除処理（ゴキブリ発生などの防除）をしました。 ・ネズミの調査では脱糞跡、足跡等の活動形跡は確認されず、設置した粘着トラップへの捕獲も確認されませんでした。

## (3) 仮収蔵室除菌清掃

調査期間	令和3年7月29日
調査場所	展示室1
調査内容	増築工事に伴い、収蔵作品を仮収蔵室(展示室1)に移動し保管するため、今年度は収蔵庫環境調査と空気環境モニタリングを行わず、HEPAフィルター付き掃除機でのカーペット清掃、アルコール70%噴霧。除菌シートでの床・壁面拭き取り清掃を実施しました。
実施結果	清掃後のパッシブインジケータによる空気環境モニタリング結果、有機酸値、アンモニア値に異常はみられませんでした。収蔵庫から仮収蔵室への移動は滞りなく完了しました。

## (4) 保存箱及び汎用額作成

実施期間	令和4年2～3月
対 象	箱の付属しない掛け軸作品とポスター作品
内 容	現状で箱等の付属していない作品の保存のために桐製軸12箱とポスター用汎用額1点作成しました。

## (5) 野外彫刻メンテナンス

実施期間	令和3年6月4日～6月13日
対 象	加藤知彦《わらべの詩》
経 緯	雨だれ、樹液、大気汚染、栄巣、糞害、悪戯などによる変化がみられたため
内 容	落書きを除去し、洗浄したのち、再コーティング、ぐらつき調整を行いました。

実施期間	令和3年6月4日～6月13日
対 象	新妻実《眼の城》
経 緯	経年劣化による目地コーキングの剥がれがみられたため
内 容	台座設置部分のコーティングを除去し、洗浄したのち、再コーティングを行いました。

実施期間	令和3年7月30日
対 象	山本正道《樹と少女》

経緯	経年劣化による台座の瓦タイルの破損とひび割れがみられたため
内容	破損部分とひび割れ部分の瓦タイルを交換しました。

## 6 所蔵作品等貸出

### (1) 所蔵作品

貸出作品	荻須高德《バンバラ城》
貸出目的	「生誕 120 年記念 荻須高德展—私のパリ、パリの私—」出品のため
貸出先	「えき」KYOTO（令和3年9月10日～10月17日） 稲沢市荻須記念美術館（令和3年10月23日～12月19日） ひろしま美術館（令和4年1月3日～3月13日）
貸出期間	令和3年8月24日～令和4年3月18日

貸出作品	藤井達吉《大島風物図屏風》始め寄託作品4件、所蔵作品17件
貸出目的	PAPER TOYOTA 豊田国際紙フォーラム特別展「藤井達吉展」出品のため
貸出先	豊田市小原和紙のふるさと 小原和紙美術館（令和3年10月2日～12月5日）
貸出期間	令和3年9月14日～令和3年12月17日

貸出作品	石川三碧コレクション 浦上玉堂《溪村夜雨図》
貸出目的	「サロン！雅と俗—京の大家と知られざる大坂画壇」展出品のため
貸出先	京都国立近代美術館（令和4年3月23日～5月8日）
貸出期間	令和4年2月21日～6月中旬頃

### (2) 画像

貸出画像	藤井達吉画像《真鶴にて》
貸出目的	テレビ番組で生野祥雲齋と藤井達吉との交流エピソードと共に紹介するため
貸出先	株式会社 映像新社
使用期間	令和4年2月10日から令和4年3月1日まで

貸出画像	石川三碧コレクション 浦上玉堂《溪村夜雨図》
貸出目的	「サロン！雅と俗—京の大家と知られざる大坂画壇」展出品のため
貸出先	京都国立近代美術館（令和4年3月23日～5月8日）
使用期間	令和4年2月21日～6月中旬頃

※令和3年度の観覧者等実績

観覧者数計：5,088人（企画展：3,865人、常設展：0人、共催展等：1,223人）

教育普及：子どもWS219人(2/27現在)、大人WS96人(2/27現在)、美術館学習  
1,331人、出前講座（創作／鑑賞）1,143人



## 令和 4 年度活動計画について

## 1 企画展及び常設展

収蔵庫等増設改修工事に伴う休館のため開催しません。

## 2 共催展等

## (1) 第 35 回碧南市野外彫刻コンテスト入賞作品展（会場：文化会館）

会 期	令和 4 年 11 月 26 日（土）～12 月 9 日（金） 12 日間
-----	---------------------------------------

## 3 教育普及

市内小中学校への美術館学習、出前講座、市民が参加できるワークショップを定期開催します。

## 4 保存・修復

館内の空気環境調査や文化財害虫生息調査を実施し、作品の安定的な管理に努めます。重篤な傷みのある作品に対しては順次修復を実施します。

## 5 調査研究

藤井達吉及び藤井の同時代の美術を中心とした調査、ならびに各企画展実施に向けた調査研究を行います。

## 6 所蔵作品等管理

所蔵作品の内容、状態、画像等をすべてシステム化し、データ管理を進めます。

## 令和5年度以降の企画展について（予定）

展覧会名	会期	内容	備考
リニューアル記念 碧い海の宝箱 一達吉から羽ばたく未来一	2023年（令和5） 4月下旬～ 6月下旬	平成20年4月の開館以降に収蔵した 美術品を中心に、収集コンセプトに 沿った展示構成。	各メディアに後援の依頼 予定。
生誕160年 清澤満之の世界展	7月上旬～ 8月下旬	清澤満之は明治時代を代表する宗教 哲学者で、彼の生誕160年を記念 する企画展。	メディアに名義共催を 依頼予定。
美術と風土 アーティストが触れた伊那谷	9月中旬～ 10月上旬	<共同企画> 飯田市美博、橋本関雪美、 大阪府江之子芸創センター	きょうと視覚文化振興 財団助成事業
生誕130年企画 須田国太郎の芸術	10月下旬～ 12月中旬	油彩画と留学中の写真等を展示。 <共同企画> 世田谷美術館、大谷記念美術館、 大分市美術館、呉市蘭島閣美	きょうと視覚文化振興 財団助成事業
顕神の夢	2024年（令和6） 1月上旬 3月上旬	「靈性」という尺度からモダニズム絵画を 見直す企画展。<共同企画> 川崎市岡本太郎美、足利市美、 久留米市美、久万美術館	令和4・5年度公立美術館 共同巡回展助成事業 （地域創造）

< 開催要項 >

碧南市藤井達吉現代美術館リニューアル記念展

碧い海の宝箱 —達吉からはばたく未来—

Blue sea treasure chest —The future flapping from TATSUKICHI—

会 期 2023年4月29日（土）～6月25日（日）【50日間】（予定）

会 場 碧南市藤井達吉現代美術館

2階 展示室1・2、多目的室A、1階 展示室3、藤井達吉記念室

観 覧 料 一般200円 高校生以下無料 市内在住65歳以上（検討中）

主 催 碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会

後 援 各新聞社などマスメディア（予定）

## 1 趣旨

碧南市藤井達吉現代美術館は、碧南市制60周年を迎えた平成20年4月5日の開館以来、碧南市出身の美術工芸家・藤井達吉芸術の顕彰とその精神を受け継ぐ作家の発掘、子どもたちをはじめとした幅広い世代への教育普及活動、まちづくりの拠点施設としての役割等、様々な活動を展開してきました。このたび、収蔵庫等施設の増築や老朽化した施設の改修工事を終え、令和5年4月にリニューアルオープンを迎えます。

美術館にとって、美術品の収集活動は館を形成する上で最も重要な柱のひとつです。当館では、日本近代工芸史において前衛的な活動を展開した藤井の作品や芸術観を軸として、時代や地域性を考慮したコレクション収集に努めてきました。それらは、フェウザン会に出品した木村莊八や津田青楓、また小茂田青樹や富取風堂ら赤耀会の作家をはじめ、近代洋画、日本画の前衛的な美術動向の一端をしめす作品や藤井と同時代の作家による作品、またひとつのジャンルに留まらない幅広い制作を展開した和田三造や独学で独自の境地を開拓した自画像の画家・笈忠治など、藤井の創作姿勢と共通点をもつ作家の作品、さらに戦後新たな日本画を希求した中村正義や星野眞吾、碧南市出身のシュルレアリスムの作家・久田治男、工事休館中に新たに収蔵した山本富章や渡辺英司の作品など、地域ゆかりの作家や現代の美術を含む特色あるものへと拡充してきました。

当館のリニューアルオープンを記念して開催する本展では、新装した展示室等施設や設備を公開するとともに、藤井達吉が遺した貴重な作品や資料をはじめ、購入や多くの篤志

家の方々からご寄贈いただいた美術作品など、これまでに収蔵してきた多くの所蔵品の中から厳選した名品を改めてご紹介します。かつて、ここ碧南市を含む西三河地域の一部は碧海郡とよばれました。今後も当館が、この地域の「宝箱」として美術品を未来に遺し伝えるとともに、箱のなかに留まらず地域に根差した活動を通して皆さまに愛される存在となれるよう、ともに歩をすすめていただければ幸いです。

## 2 展覧会のポイント

所蔵品の中から、藤井達吉の作品や芸術観、碧南市が位置する三河地方という地域性を軸としたテーマ設定を通じて厳選した作品を展示し、碧南市藤井達吉現代美術館のコレクションを改めて知ってもらう。

新たに設けた藤井達吉記念室や新築した多目的室 A などの施設や設備を紹介しながら、それぞれの空間を生かした展示を行う。

## 3 章構成

- 1 章 藤井達吉ゆかりの作家と同時代の作家たち
- 2 章 藤井達吉の芸術観や創作姿勢を感じさせる近現代の作家たち
- 3 章 時代を彩った作家たち～新境地への挑戦
  - Part1：地域の美術振興に足跡を残した作家たち
  - Part2：新たな表現を希求した作家たち
- 4 章 近代の藤井達吉
- 5 章 石川三碧コレクション

## 美術館収蔵庫等増設・改修事業について

### 1 目的

美術館では開館以来、非常に多くの篤志家から美術作品等の寄贈や寄託があり、収蔵庫内は飽和状態となっている。今後も収蔵作品数は増え続けることが予想されるため、収蔵庫の増設を行う。

また、この休館期間を利用し、既存施設の経年劣化による長寿命化対策、施設規模に合わせた消防法適法化対策などの改修工事を行う。

### 2 増設部の施設概要

- (1) 階数 地下1階、地上3階
- (2) 構造 鉄筋コンクリート造（既存部と同じ）
- (3) 建築面積 増築面積 144.24 m<sup>2</sup>（既存部 820.36 m<sup>2</sup>、合計 964.60 m<sup>2</sup>）
- (4) 各階の主な用途
  - 3階 収蔵庫
  - 2階 収蔵庫（展示室）、前室
  - 1階 搬入スペース（トラックヤード）、荷解室、倉庫、保存修復室
  - 地下1階 閉架書庫、空調機械室、館長室兼応接室
- (5) 各階の延床面積

階別	増築部分	既存部分	合計
屋上	—	19.39 m <sup>2</sup>	19.39 m <sup>2</sup>
3階	133.18 m <sup>2</sup>	361.56 m <sup>2</sup>	494.74 m <sup>2</sup>
2階	161.47 m <sup>2</sup>	671.59 m <sup>2</sup>	833.06 m <sup>2</sup>
1階	134.87 m <sup>2</sup>	671.68 m <sup>2</sup>	806.55 m <sup>2</sup>
地下1階	123.02 m <sup>2</sup>	657.76 m <sup>2</sup>	780.78 m <sup>2</sup>
合計	552.54 m <sup>2</sup>	2,381.98 m <sup>2</sup>	2,934.52 m <sup>2</sup>

### 3 改修事業の概要

- (1) 温湿度対策、結露防止対策などの修繕
- (2) 消防法適合のための消火設備工事
- (3) 2階展示室入口に自動扉の設置など

#### 4 経過及び今後のスケジュール（予定）

- 令和元年 1 2月 入札不調
- 令和 2年 2月 休館（2/25）
- 令和 2年 4月 コロナ禍のため 6 補正予算の計上見送り
- 令和 3年 3月 令和 3 年度当初予算において美術館整備事業予算の議決
- 令和 3年 9月 美術館整備事業落札業者の議会承認、工事着手（9/8）
- 令和 4年 1 1月 竣工（11/11）
- 令和 5年 4月 リニューアルオープン（4/29 予定）

#### 収蔵庫棟完成イメージ図

